

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

科目名	ナンバリング	区分(必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
公共政策論		選択	2	2	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
新津 修	教員控室	kango	随時メールで質問等受付		
授業の目的・概要	我が国の体制や現状を決定している公共政策とは何かを明らかにするために、政策を決定する政治の仕組みや実施する国・地方自治体の制度を学習し、公共政策がどのように実施されていくかを理解することで現代日本の課題を解決する公共政策とは何かを自らの問題として考察することを目的とする。				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・ディベート <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学習) <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	新聞や放送などで報道される公共政策の新たな動きについては、インターネット検索で容易に閲覧することができるので可能な限りこうした情報に目を通しておくことが望ましい。				
教科書	必要に応じてプリントを配布する。				
参考書	特になし				
外部教材	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	公共政策の実施主体について理解し説明できる。	HSU(2),NS(1)			
②	国や地方自治体の制度や仕組みについて理解し説明できる。	HSU(2),NS(1)			
③	公共政策の決定過程について理解し説明できる。	HSU(2),NS(1)			
④	日本の公共政策とその課題について理解し説明できる。	HSU(2),NS(1)			
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間(時間)		
1	公共政策とその実施主体について学習する。	講義・演習(レポート作成)	2		
2	国会と地方議会について学習する。	講義・演習(レポート作成)	4		
3	選挙と政党について学習する。	講義・演習(レポート作成)	4		
4	国・県・市町村の事務配分について学習する(1)。	講義・演習(レポート作成)	4		
5	国・県・市町村の事務配分について学習する(2)。	講義・演習(レポート作成)	4		
6	租税について学習する(1)。	講義・演習(レポート作成)	4		
7	租税について学習する(2)。	講義・演習(レポート作成)	4		
8	国・地方の財政について学習する。	講義・演習(レポート作成)	4		
9	安全・安心・防災政策について学習する。	講義・演習(レポート作成)	4		
10	医療保険政策について学習する。	講義・演習(レポート作成)	4		
11	介護保険政策について学習する。	講義・演習(レポート作成)	4		
12	教育政策について学習する。	講義・演習(レポート作成)	4		
13	産業・環境政策について学習する。	講義・演習(レポート作成)	4		
14	交通政策について学習する。	講義・演習(レポート作成)	4		
15	現代日本の課題と公共政策について学習する。	講義・演習(レポート作成)	4		
試	なし				

【総合基礎科目領域/共通基礎科目群】

		達成度評価						
総合評価割合(%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計	
総合力指標	知識・技術力	0	100	0	0	0	100	
	思考・推論・創造する力	0	0	0	0	0	0	
	思考・推論・創造する力	0	30	0	0	0	30	
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0	
	発表・表現伝達する力	0	30	0	0	0	30	
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0	
取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	0	10		
問題を発見・解決する力	0	30	0	0	0	30		
評価のポイント								
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					フィードバックの方法	
試験	①							
	②							
	③							
	④							
レポート	①	✓	課題レポートのうち、予め指定する4回程度について評価の対象とする。					評価の対象とする課題レポートについては採点して返却する。
	②	✓						
	③	✓						
	④	✓						
成果発表	①							
	②							
	③							
	④							
ポートフォリオ	①							
	②							
	③							
	④							
その他	①							
	②							
	③							
	④							
備 考								
他担当教員	なし							
教員の実務経験	山梨県庁企画部・総務部等で37年間(うち13年間 市町村行政関係・選挙管理事務)の実務経験を有する。							
実践的授業の内容	地方自治体での勤務経験を活かして、様々な政策決定過程の実例を交えながら講義を進める。写真やグラフ、具体的なデータなどを使用して分かりやすい授業を目指す。							
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の私語、携帯電話、スマートフォン、パソコン等電子機器類の使用を禁止する。 ・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によってシラバスを変更することがある。 							